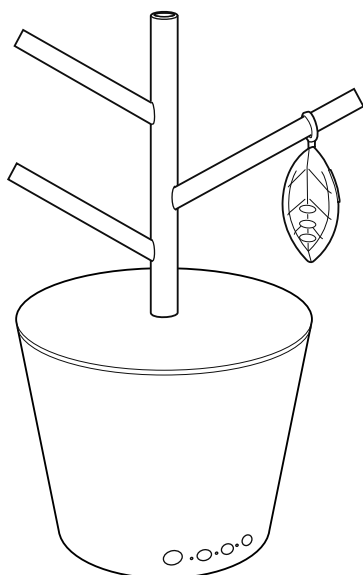
*Rocca

ハイブリッド式加湿器 RC-KH901

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保管してください。

もくじ

仕　　様

品名	ハイブリッド式加湿器
型名	RC-KH901
電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	48W
加湿性能	1時間当り　H（強）：約160ml / L（弱）：約70ml / SL（微弱）：約40ml
連続加湿時間	約11時間（H（強）運転時）
タンク容量	約1750ml
電源コード長さ	約1.8m
寸法	直径208×高さ377mm（突起部を除く）
質量	約1.3kg（本体のみ）
付属品	取扱説明書・保証書×1、リモコン×1、リモコン用電池×1、 セラミックディスクセット×1、蒸気筒取付ナット×1

● 仕様等は改善・改良の為、予告なく変更する事があります。
● この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

901A

株式会社ドウシシャ

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

⚠警告	誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	誤った取扱をすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。 （物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。）

図記号の意味と例

	⃠は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⃠の近くに文章で示しています。（左図の場合は、「分解禁止」を示します。）
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の近くに文章で示しています。 （左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。）

⚠警告

図記号	内容
分解禁止	**分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。** 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店またはドウシシャサービスセンター（裏表紙をご参照ください）にご相談ください。
使用禁止	**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。** 感電・ショート・発火の原因になります。
禁止	**電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。** 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
禁止	**本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。** 感電や異常動作してけがの原因になります。
禁止	**子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。** けがややけど、感電の原因になります。
禁止	**交流 100 V以外で使用しない。** 火災や感電の原因になります。

図記号	内容
ホコリを取る	**電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。** ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショートや火災の原因になります。
指示	**電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。** 感電・ショート・発火の原因になります。
プラグを抜く	**使用後は必ず電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜く。** 火災や故障の原因になります。
プラグを抜く	**異常時（こげ臭い、発煙など）は、電源プラグをコンセントから抜き、使用を停止する。** 火災や感電の原因になります。
禁止	**本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。** ショート・感電の原因になります。
ぬれ手禁止	**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。** 感電の原因になります。

⚠注意

 プラグを抜く	**お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。** 感電や火災の原因になることがあります。
 禁止	**湿度の高いところ（85%以上）では使用しない。** 室内を濡らしたり、故障の原因となります。
	蒸気が直接、家具・壁・カーテン・天井などにあたるところで使用しない。 家具・壁に染みがついたり、変形の原因になります。本体を壁、家具、カーテン、寝具などから 50cm 以上離してご使用ください。
	犬やネコなどのペットのためには使用しない。 ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になることがあります。
	傾いた場所や棚などの高い場所・不安定な場所には置かない。 転倒すると本体の破損、けがの恐れがあります。
	蒸気吹出口をふさがない。 蒸気吹出口をふさぐと、変形や故障の原因となります。
	水道水以外は使用しない。 一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいためです。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水を使用すると、カビや雑菌が繁殖しやすくなったり、水アカが多くなったりして、異臭の原因になります。
	お湯は使用しない。 40℃以上のお湯を使用すると、変形・誤動作の原因になります。
	アロマオイルなど芳香剤を水タンクへ絶対入れない。 本体の破損、故障の原因になります。
	本体をカーペットなどの柔らかい繊維の上に直接置いて使用しない。 使用すると、本体底面の吸気口がふさがり、本体の故障や水漏れの原因になります。
	ベンジン・シンナーで拭かない。 変色や変形の原因になります。

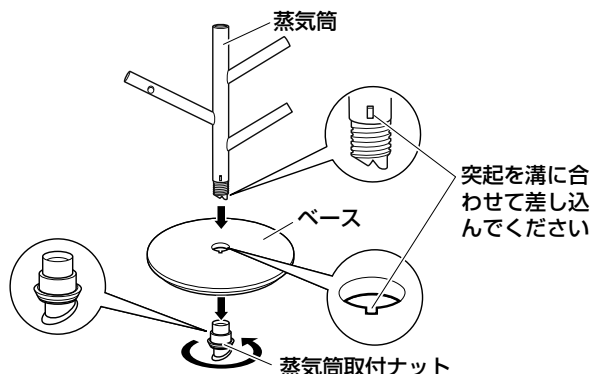
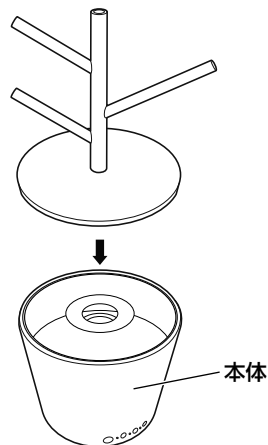
 指示	**電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。** 感電やショートの原因になることがあります。
	本製品を使用しないときは、水を捨てる。 使用しない水をそのままにしておくと、カビや雑菌が繁殖し異臭の原因になります。 使用しないときは、水タンクの水を捨ててください。
	水タンクおよび水槽の水は毎日新しい水道水と入れ替える。本体内部は常に清潔を保つよう定期的にお手入れする。 お手入れせずにお使いになると､汚れや水アカにより、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し健康を害することがあります。この場合は、医師に相談してください。
	加湿器の近くに携帯電話やパソコンなどを置かない。 加湿器の運転中は、加湿器周囲の湿度が高くなりますので、湿気に弱い携帯電話やパソコンなどの電子機器等は加湿器の近くに置かないでください。 水道水に含まれるミネラル分（カルシウム、マグネシウムなど）が霧と共に空気中に放出され、水分が気化した後、白い粉状になって室内に拡散されます。人体には無害ですが精密機器、電子機器などの故障の原因になるおそれがありますので、ホコリや汚れに弱い機器のあるところでは使用しないでください。
 注意	**凍結に注意する。** 凍結のおそれがあるときは、本体の水を捨てる。
	製品はテレビ、ラジオなどから２m以上はなして設置する。 雑音の原因になる場合があります。
	本体を傾けない。 水タンクに、水を入れたまま本体を傾けると、水がこぼれる恐れがありますので、ご注意ください。

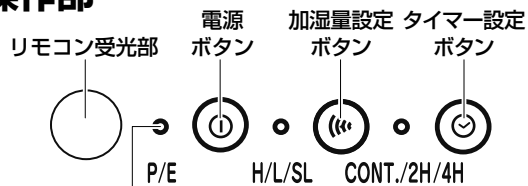
ご使用の前に、カバーを組み立てる

カバーは組み立て式です。カバーを組み立てないと、製品としてご使用になれません。

蒸気筒をベースに取り付ける

蒸気筒をベースに差し込み、付属の蒸気筒取付ナットでしっかり締めて固定します。

※蒸気筒をベースに差し込むときは、突起を溝に合わせて差し込んでください。

※本製品を使用するときは、本体にカバーを取り付けてから使用してください。

各部の名称とはたらき

操作部

電源 / 給水表示ランプ

加湿量の調節のしかた：
加湿量設定ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

H「強」→ L「弱」→ SL「微弱」

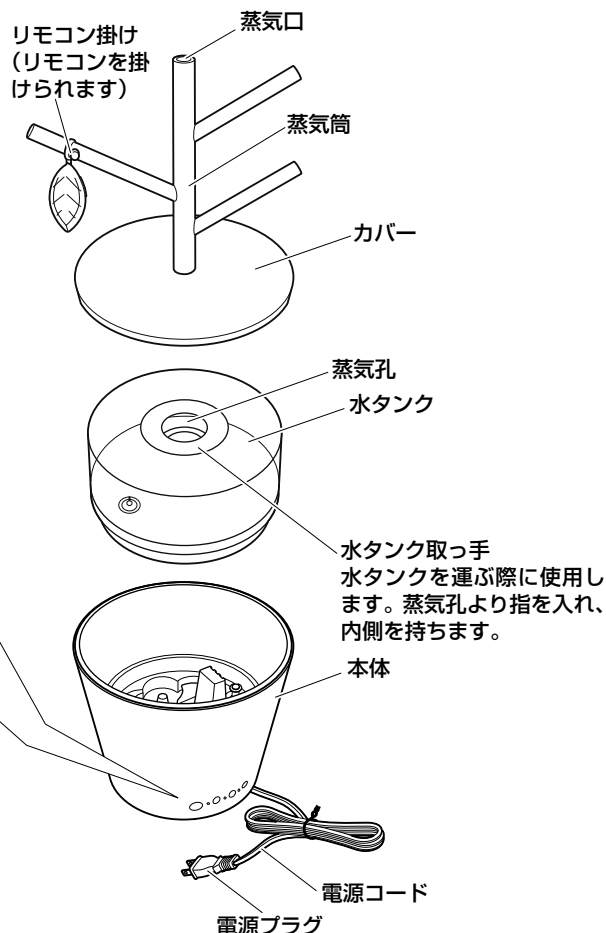
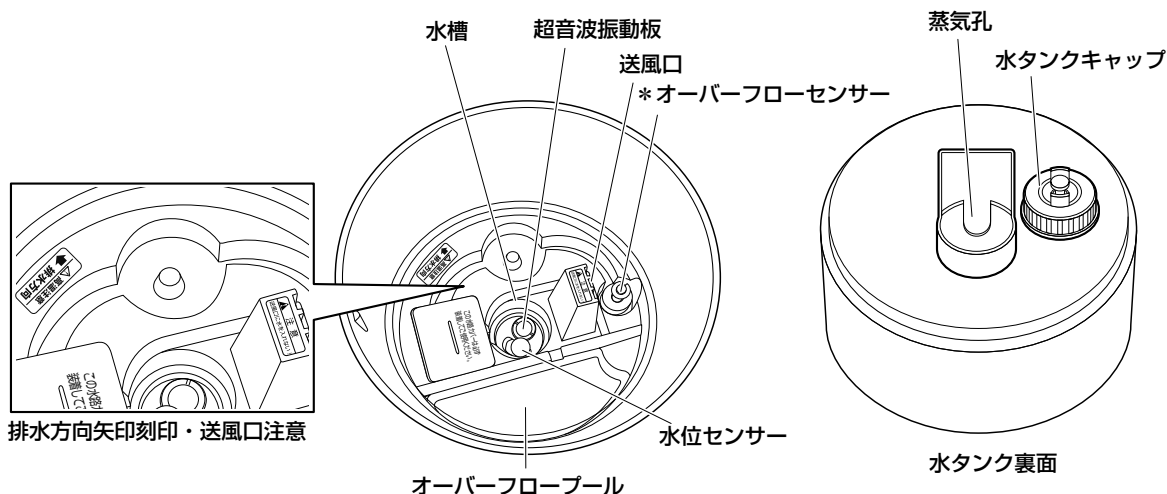
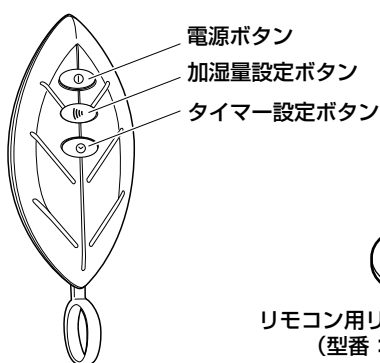
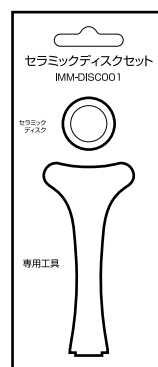
加湿量の設定	表示ランプの色
H「強」	青色
L「弱」	黄色
SL「微弱」	黄色点滅

タイマー機能の使いかた：
タイマー設定ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

CONT.「連続運転」→ 2H「2 時間後オフ」→ 4H「4 時間後オフ」

タイマーの設定	表示ランプの色
CONT.「連続運転」	消灯状態
2H「2 時間後オフ」	黄色
4H「4 時間後オフ」	黄色点滅

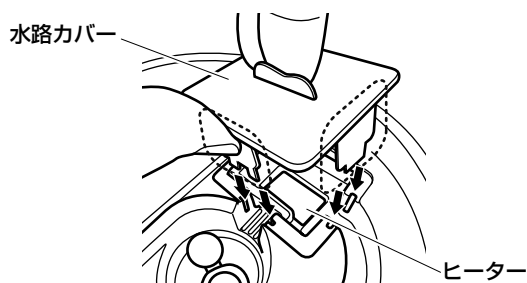
付属品

リモコン用リチウムボタン電池
（型番：CR2032）

リモコン
（本体のボタンと同じ働きをします）

交換用セラミックディスクセット
IMM-DISC001

蒸気筒取付ナット

⚠注意	
	• **アロマオイルなど芳香剤を水タンクへ絶対入れない。** 本体の破損、故障の原因になります。 • **本体を移動させる場合は、先に水タンクを外し、本体の水を捨てる。** 水タンク及び本体の水がこぼれるおそれがあります。 • **水路カバーを必ず取付けて使用する。** 取付けないで使用すると水漏れの原因になります。お手入れの時以外は取外さないでください。 • **排水する時や清掃する時、送風口に水が入らないようにする。** 故障の原因になります。

＊オーバーフローセンサーについて

オーバーフローとは水位が異常に上昇した状態をいいます。
オーバーフローセンサーは通常では動作しませんが、オーバーフローした場合は、ヒーターの運転を停止し、水溢れを防止します。オーバーフロープールに水がたまっていた場合は、排水方向から捨ててください。水路の水位が正常に戻るとヒーターの運転を再開します。

※ 水路カバーを正しく取り付けないと、本体よりお湯があふれる原因となります。
水路カバー下部脚部分（点線部）を本体水路の溝部（矢印で指し示している箇所）にしっかりと差し込んでください。

正しい使いかた

使用前の準備

1. 本体を水平な場所に設置する

安定した水平な場所に設置してください。
本体を使用場所へ設置し、本体に傾きが無いことを確認してください。

⚠注意	**テレビ、ラジオなどから 2m 以上はなして設置する。** 雑音の原因になる場合があります。

2. 給水する

① 本体上部のカバーを外します。
② 本体より水タンクを取り出し、水タンクキャップを外してきれいな常温の水道水を入れてください。
③ 水タンクキャップを確実に締め、こぼれた水をふきとり、水漏れがないことを確認してください。

⚠注意	**• 水道水以外の水は使用しない。** **• 運転終了後、再度給水する場合はカバーを取り外すときに蒸気筒内部の水がこぼれますので、タオル等を準備して本体や床が濡れないようにしてください。**

3. 水タンクを本体に確実にセットする

水タンクの⬇矢印を本体のリブに合わせて装着した後、本体にカバーをしっかりかぶせます。

⚠警告	**外出や本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。** 消し忘れや火災の原因になります。

4. 電源プラグをコンセントに差し込む

リモコンについて

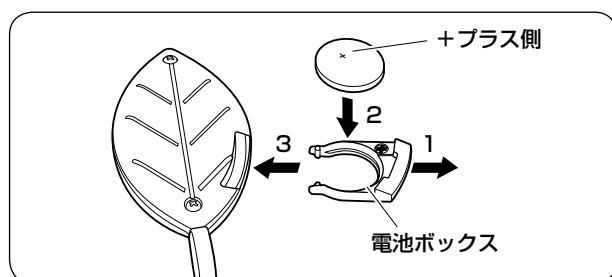
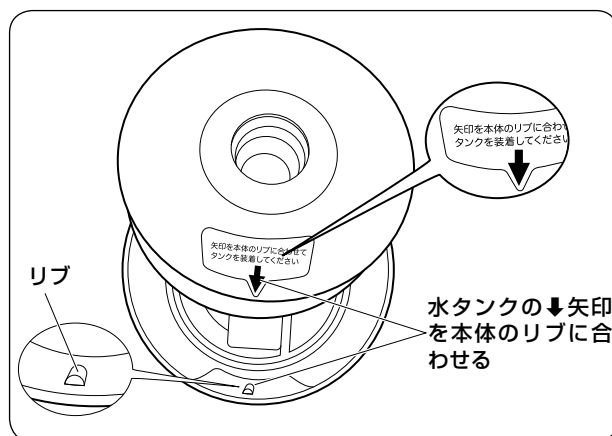
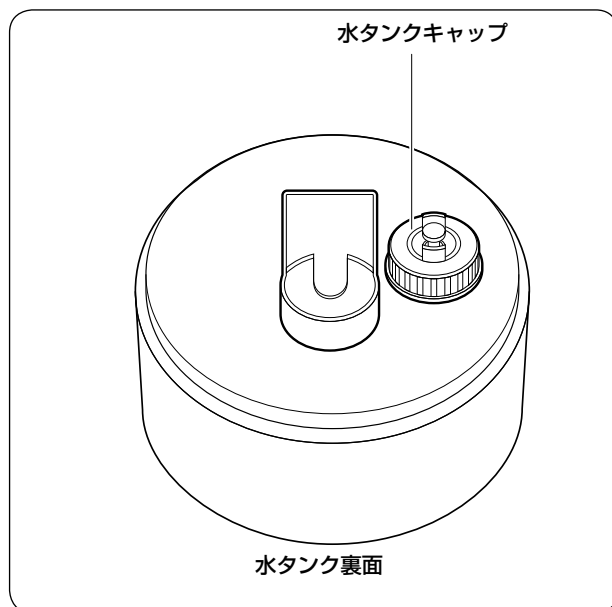
電池を入れる

下記の手順で新しい電池（リチウムボタン電池 CR2032）を入れてください。

1. 電池ボックスを引き出す

※指を引っ掛けて引き出します。

2. ＋と－の向きに注意して、電池を入れる

※＋プラス側を表にして入れてください。

3. 電池ボックスを差し込む

※カチッと音がするまで押し込んでください。

⚠注意	• 電池の寿命を長くするため、長い時間使わないときは電池を取り外す。 • 電池の破裂や液もれを防ぐため、＋－を正しく入れる。 • 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。 • 万一、液もれが起こったときは、端子部をよくふき取ってから新しい電池を入れる。

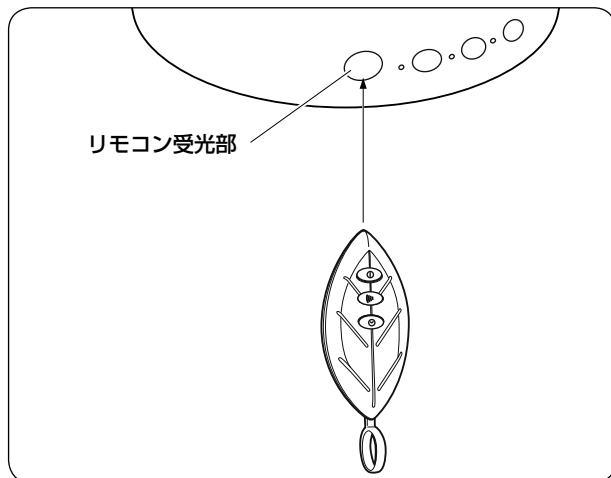
リモコンを使用する

本体のリモコン受光部に向けてリモコンを使用してください。

リモコンの取扱いについて

運転中は本体の近くにリモコンを置かないでください。湿気により、故障のおそれがあります。

※運転中はリモコンをリモコン掛けに掛けないでください。

⚠注意	**リモコンを落とさないでください。** 落下すると、リモコンの破損、けがの恐れがあります。

使用可能範囲

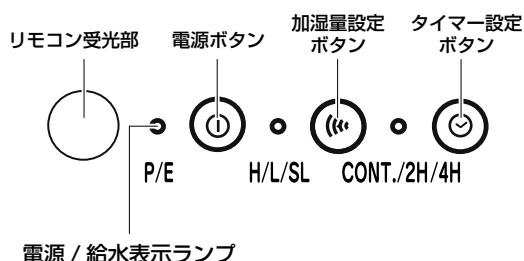
• 本体リモコン受光部正面から直線で約 3m
• 本体リモコン受光部正面から左右約 30 度
• リモコンと本体の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。

運転の開始／停止

⚠注意	**冬場に就寝する際、暖房機を止めて室内の温度が 15℃以下になり、加湿運転を継続すると結露が発生することがあります。** 本体や床が濡れることがありますので、就寝時や室温が 15℃以下、湿度が 60%以上になる状況が予測される環境で使用される場合は、加湿運転を L「弱」または SL「微弱」モードにするか、使用を停止してください。

1. 運転を開始する

電源ボタンを押すと電源 / 給水表示ランプ（P/E）が緑色に点灯し、約 2 分後に加湿運転を開始します。

⚠注意	**電源 / 給水表示ランプ（P/E）が消えてからすぐ電源ボタンを押しても、約 2 分間は加湿しません。水温を 60℃以上に加熱し、殺菌を行なってから加湿運転を行なうためです。**

正しい使いかた（つづき）

2. 運転を停止する

電源ボタンをもう一度押すと、運転を停止します。

※ 加湿運転を停止後、約 1 分間送風運転を行い、その後完全に停止します。

加湿量の設定 / タイマーの設定

運転時に加湿量設定ボタンを押すと加湿量の設定、タイマー設定ボタンを押すとタイマーの設定ができます。

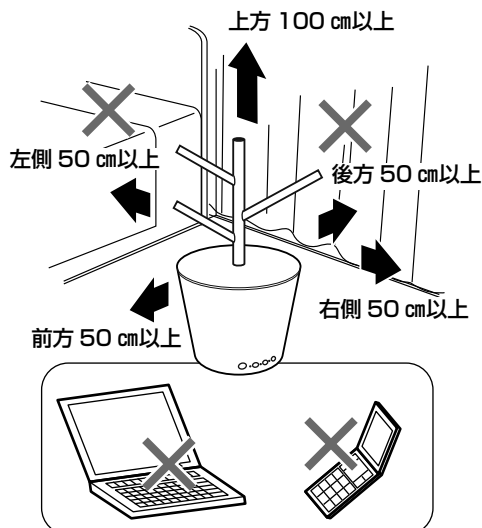
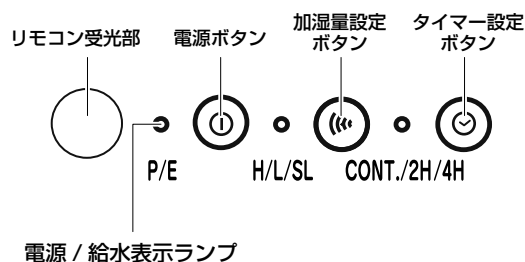
1. 加湿量を設定する

加湿量を設定するには加湿量設定ボタンを押します。1 回押すごとに L「弱」→ SL「微弱」→ H「強」と切り換わります。H「強」のときは青色ランプが、L「弱」のときは黄色ランプが点灯、SL「微弱」のときは黄色ランプが点滅します。

2. タイマーを設定する

タイマーを設定するにはタイマー設定ボタンを押します。1 回押すごとに 2H「2 時間後オフ」→ 4H「4 時間後オフ」→ CONT.「連続運転」と切り換わります。2H「2 時間後オフ」のときは黄色ランプが点灯、4H「4 時間後オフ」のときは黄色ランプが点滅、CONT.「連続運転」のときはランプが消灯します。

本体は壁や周囲から適当な距離を保ってください。

本体は以下の点に注意してください。

- 本体は壁、寝具、カーテン、家具などから 50 ㎝以上離して設置してください。
- じゅうたんなど毛足の長い布の上には置かない。吸気孔がふさがり本体の故障、周囲への水漏れの原因になります。
- 本体の近くには携帯電話、パソコンなど湿気に弱い電子機器、精密機器は絶対に置かない。

リモコン受光部　電源ボタン　加湿量設定ボタン　タイマー設定ボタン

P/E　H/L/SL　CONT./2H/4H

電源 / 給水表示ランプ

加湿量の調節のしかた：
加湿量設定ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

H「強」→ L「弱」→ SL「微弱」

加湿量の設定	表示ランプの色
H「強」	青色
L「弱」	黄色
SL「微弱」	黄色点滅

タイマー機能の使いかた：
タイマー設定ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

CONT.「連続運転」→ 2H「2 時間後オフ」→ 4H「4 時間後オフ」

タイマーの設定	表示ランプの色
CONT.「連続運転」	消灯状態
2H「2 時間後オフ」	黄色
4H「4 時間後オフ」	黄色点滅

運転中に電源 / 給水表示ランプ（P/E）が赤色に点灯したとき

ランプが点灯したときは、タンクの水が足りなくなっていることを表しています。

水タンク、水槽内の水が少なくなるとブザーが 5 回鳴り､電源 / 給水表示ランプ (P/E) が赤色に点灯します。

① 水路に残った水を捨てた後、新しい水道水を水タンクに入れてください。

② 水タンクより本体に水が行きわたりますと、電源 / 給水表示ランプ（P/E）が消灯します。

③ 電源ボタンを押して､運転を開始してください。

⚠注意	給水が必要な場合、ブザーが 5 回鳴り、電源 / 給水表示ランプ（P/E）が赤く点灯します。水タンクに水を入れてください。

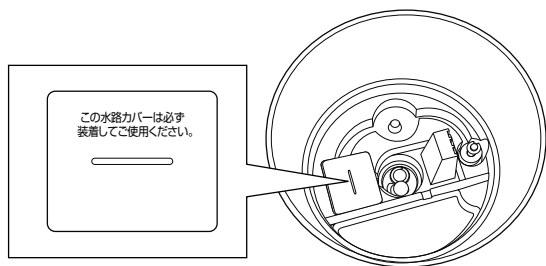
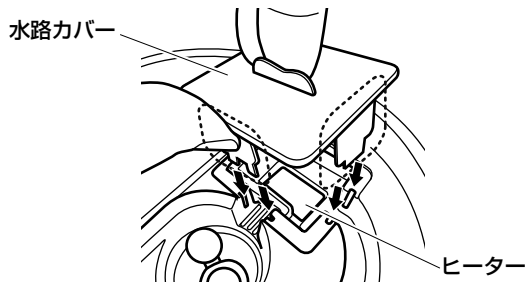
お手入れと保管

⚠警告	• 水タンクを取り出した後、本体内部の金属部に触れない。（けが・故障の原因） • 必ず運転を止め、電源プラグをコンセントから抜いて、本体内部が冷えるのを待ってから（10 分位）お手入れを行う。（感電・やけど・けがの原因） • 清掃後は、必ず各部品を元通りにセットする。（やけど・けが・故障の原因）

本体のお手入れ（週に 2 回以上）

本体に残っている水をきれいに捨ててください。

※ 水を捨てるときは、必ず本体に表示されている矢印方向から捨ててください。
矢印方向以外から水を捨てると、故障の原因となります。

※ 水路カバーを取り外した場合、必ず装着しなおしてください。水漏れの原因となります。

※ 水路カバーを正しく取り付けないと、本体よりお湯があふれる原因となります。
水路カバー下部脚部分（点線部）を本体水路の溝部（矢印で指し示している箇所）にしっかりと差し込んでください。

※ 水を捨て、よく乾燥させてください。

※ 本体底面の空気取り入れ口フィルターの清掃を行ってください。
フィルターのホコリを掃除機などで清掃してください。

水タンクのお手入れ（週に 2 回以上）

水タンク内に水を入れ、水タンクキャップを締めて水タンクをよく振り、排水してください。（これを２～３回繰り返します。）

※ 水タンクは必ず水で洗う。
お湯で洗うと変形の恐れがあります。また洗剤等で洗うと故障の原因となりますので、洗剤等は使わないでください。

⚠注意	• ベンジン・シンナーではふかない。（変色や変形の原因） • 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。（変色・キズの原因） • 水タンクおよび水槽の水は毎日新しい水道水と入れ替える。本体内部は常に清潔を保つよう定期的にお手入れする。 お手入れせずにお使いになると、汚れや水アカにより、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し健康を害することがあります。この場合は、医師に相談してください。 • 水道水以外は使わない。 一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいためです。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水は水アカが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。必ず、きれいな水道水をご使用ください。 • ジュースなどの飲料水、温水（40℃以上）、化学薬品、芳香剤（アロマオイルなど）、洗剤を入れた水などは絶対に使用しない。 水タンクや本体が故障する原因となります。

お手入れと保管（つづき）

セラミックディスクの交換方法

セラミックディスクの耐久時間は約３０００時間です。これを過ぎると霧の発生量が少なくなったり発生しなくなります。このようなときには、別売のセラミックディスクを次の手順でお取替えください。（右図を参照ください）

a) 電源を切って、電源プラグをコンセントから抜き、水を捨てます。

b) 専用工具でリング留め具を左に回して外し、リング留め具、セラミックディスクを本体から取り外します。

c) 別売の交換用部品を「取り外しと逆の順」で超音波振動板に取り付け、専用工具にてリング留め具を締めつけます。

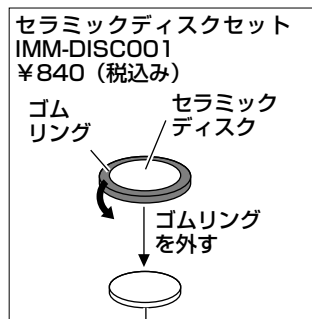
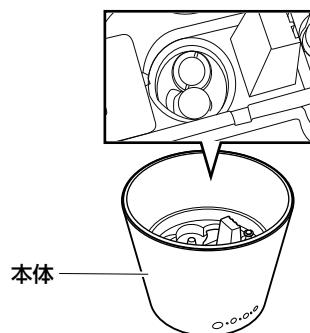
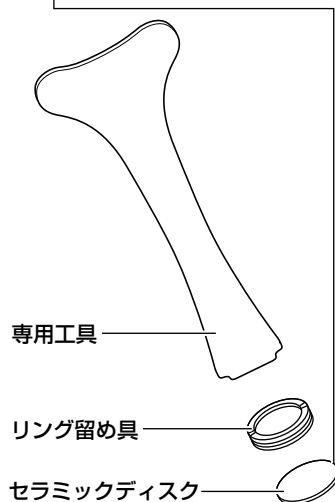
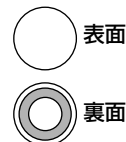
注）1　交換用セラミックディスクは破損防止用のゴムリングにて保護されています。取り付けの際には、セラミックディスクを損傷しない様にゴムリングを外してください。

注）2　セラミックディスクには表と裏があります。取り付けの際には表が見えるように取り付けてください。

お取替えの際には中はきれいに乾かしてください。

交換用セラミックディスクについては製品お買い上げの店舗またはドウシシャサービスセンターへお問合せください。

保管のしかた

「お手入れと保管」に従ってお手入れ・清掃した後、本体内部の水分をよくふき取り、陰干しして十分に乾燥させてから、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱に収めて、湿気の少ないところに保管してください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告	**修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。**

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	• 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをしっかり差し込む
加湿しない、または加湿量が少ない	• 電源 / 給水表示ランプ（P/E）が赤色に点灯していませんか？ • セラミックディスクが交換時期になっている	• 給水する ※ 電源 / 給水ランプ（P/E）が消えてからすぐに電源ボタンを押しても、約 2 分間は加湿しません。水温を 60℃以上に加熱し、殺菌を行なってから加湿運転を行なうためです。 • セラミックディスクを交換する（10 ページ参照）
給水しても電源 / 給水表示ランプ（P/E）が赤色に点灯する	• 水タンクが本体に確実にセットされていますか？	水タンクを確実にセットする
においがでる	• 水道水以外を使用していませんか？	水タンクに残っている水を捨て、「お手入れと保管」に従って掃除する
約 30 秒間に 1 回霧が止まりそうになる	• 故障ではありません。蒸気口に水が溜まることを防ぐため、ファンモーターの運転を約 30 秒間に 1 回、ファンを 2 秒間止めています。	通常の動作なので、異常ではありません。
リモコンで操作できない	• 電池が消耗していませんか？ • 電池の向きが逆になっていませんか？	• 新しい電池に交換する • 電池を入れる時は＋側を表にして入れる（6 ページ参照）

長年ご使用の加湿器はよく点検を

このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャサービスセンターに点検をご相談ください。